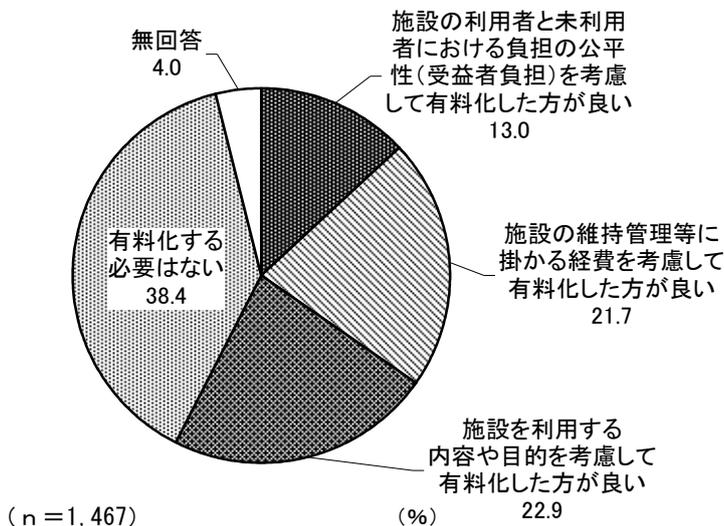


13 行政

(1) 市の施設の利用料 (A:問21)

問. 現在、厚木市には使用料が有料の施設と無料の施設（公民館など）がありますが、無料の施設の有料化についてどのように思いますか。（1つだけ選んでください）

図13-1-1 市の施設の利用料



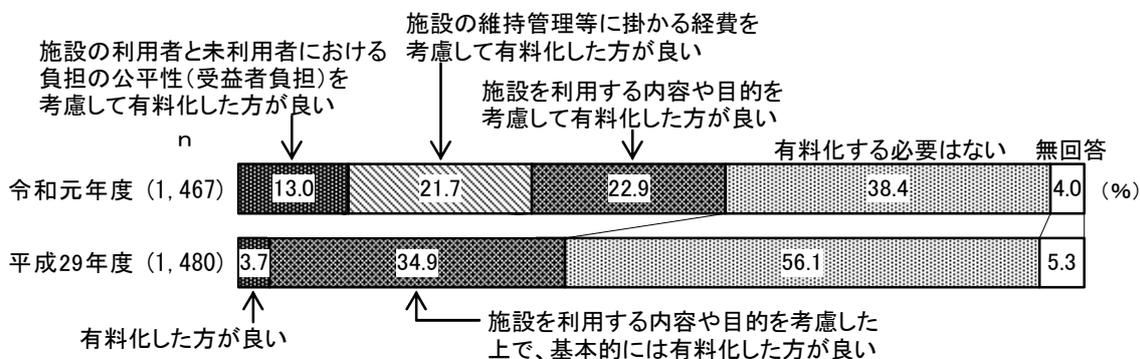
【全体】

使用料が無料の市の施設の利用料について聞いたところ、「施設の利用者と未利用者における負担の公平性（受益者負担）」（13.0%）、「施設の維持管理等に掛かる経費」（21.7%）、「施設を利用する内容や目的」（22.9%）を考慮して「有料化した方が良い」が合わせて6割近く（57.6%）となっており、「有料化する必要はない」（38.4%）は4割近くとなっている。

【経年変化】

今回調査では、質問文及び選択肢が過去と異なっているため、参考記載とする。

図13-1-2 市の施設の利用料—経年変化



(注1) 平成29年度調査では、「現在、厚木市には使用料が有料の施設と無料の施設がありますが、使用料が無料の施設についてどのように思いますか。（1つだけ選んでください）」と質問していた。

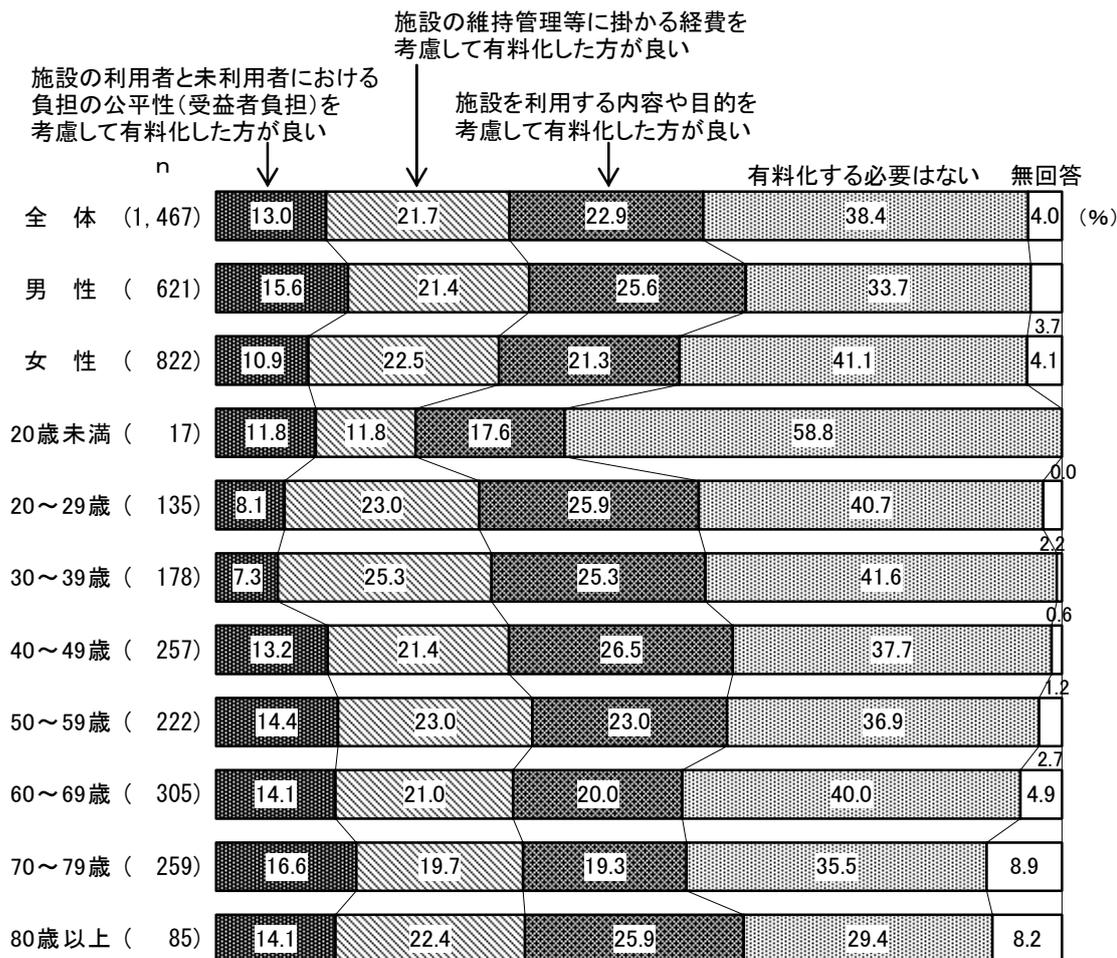
(注2) 今回調査から「施設の維持管理等に掛かる経費を考慮して有料化した方が良い」と、「施設の利用者と未利用者における負担の公平性（受益者負担）を考慮して有料化した方が良い」を追加している。

【属性別】

性別で見ると、女性では「有料化する必要はない」（41.1％）が男性（33.7％）より7.4ポイント高くなっている。一方、男性では「施設の利用者と未利用者における負担の公平性（受益者負担）を考慮して有料化した方が良い」（15.6％）が女性（10.9％）より4.7ポイント、「施設を利用する内容や目的を考慮して有料化した方が良い」（25.6％）が女性（21.3％）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、大きな差異は見られない。

図13-1-3 市の施設の利用料—性別、年齢別

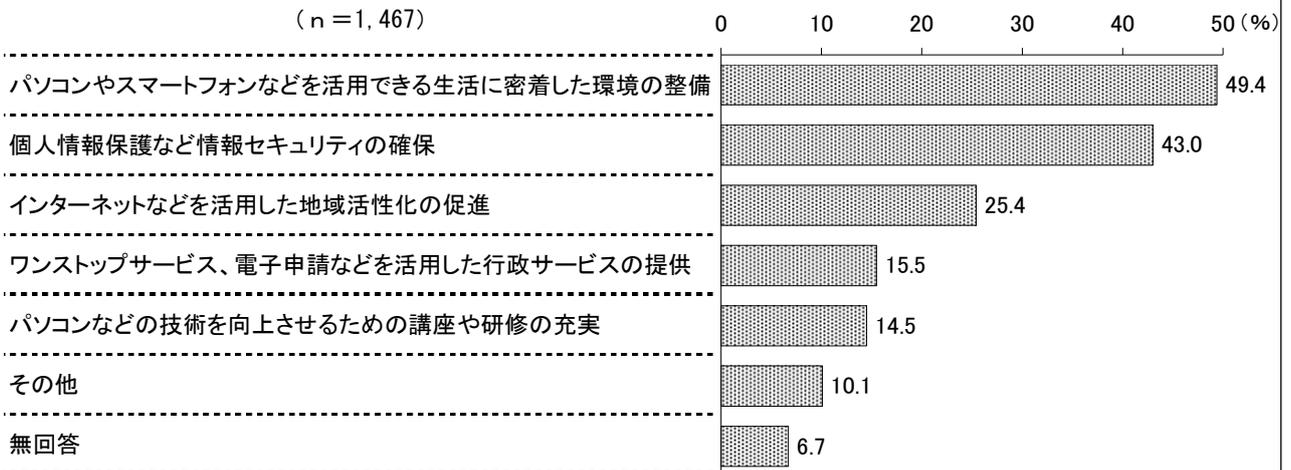


(2) 行政サービスの情報化推進への取組 (A: 問22)

問. 様々な行政サービスの情報化を推進するためには、どのような取組が必要であると思いますか。(2つまで選んでください)

図13-2-1 行政サービスの情報化推進への取組

(n=1,467)



【全体】

行政サービスの情報化推進への取組について聞いたところ、「パソコンやスマートフォンなどを活用できる生活に密着した環境の整備」(49.4%)が約5割で最も高く、次いで「個人情報保護など情報セキュリティの確保」(43.0%)、「インターネットなどを活用した地域活性化の促進」(25.4%)、「ワンストップサービス、電子申請などを活用した行政サービスの提供」(15.5%)、「パソコンなどの技術を向上させるための講座や研修の充実」(14.5%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、上位2項目は平成29年度調査と同じ順位となっている。「インターネットなどを活用した地域活性化の促進」(25.4%)は平成29年度調査(12.6%)より12.9ポイント増加している。

表13-2-1 行政サービスの情報化推進への取組—経年変化

調査年	n	(%)											
		たを環 境の 整備	パソ コン やス マ ー ト フ ォ ン な ど	リ テ ィ 情 報 の 確 保	個 人 情 報 の 確 保 な ど	情 報 セ キ ュ リ テ ィ の 確 保	た 地 域 活 性 化 の 促 進	イ ン タ ー ネ ッ ト な ど を 活 用 し	ビ ス の 提 供	申 請 な ど を 活 用 し た 行 政 サ ー ビ ス	ワ ン ス ト ッ プ サ ー ビ ス 、 電 子	せ る た め の 講 座 や 研 修 を 向 上 さ せ る た め の 講 座 や 研 修 の 充 実	そ の 他
令和元年度	1,467	49.4	43.0	25.4	15.5	14.5	10.1	6.7					
平成29年度	1,480	50.6	42.9	12.6	13.9	17.1	10.1	11.2					
平成27年度	1,445	42.8	41.6	10.7	9.8	12.0	7.7	8.4					
平成25年度	1,284	36.8	35.9	11.0	12.7	14.9	7.6	11.4					
平成23年度	814	22.0	34.0	9.1	17.0	17.7	9.5	13.3					
平成21年度	1,610	8.0	29.4	-	23.1	13.4	3.2	15.7					
平成19年度	1,506	7.1	26.6	-	16.4	14.3	2.7	18.6					

(注1)「インターネットなどを活用した地域活性化の促進」は、平成29年度調査～平成23年度調査では「ポータルサイト、地域SNSなどを活用した地域活性化の促進」としていた。また、平成21年度調査以前では選択肢に加えていない。

(注2)「パソコンなどの技術を向上させるための講座や研修の充実」は、平成27年度調査以前では「パソコン等に習熟するための講座や研修の充実」としていた。

【属性別】

性別で見ると、男性では「インターネットなどを活用した地域活性化の促進」（32.9％）が女性（20.0％）より12.9ポイント、「ワンストップサービス、電子申請などを活用した行政サービスの提供」（18.4％）が女性（13.4％）より5.0ポイント高くなっている。一方、女性では「個人情報保護など情報セキュリティの確保」（46.7％）が男性（38.0％）より8.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「パソコンやスマートフォンなどを活用できる生活に密着した環境の整備」は50～59歳（58.1％）が6割近くと高くなっている。「ワンストップサービス、電子申請などを活用した行政サービスの提供」は30～39歳では（27.5％）が3割近くと高くなっている。「パソコンなどの技術を向上させるための講座や研修の充実」は70～79歳（23.9％）と80歳以上（22.4％）が2割台と高くなっている。

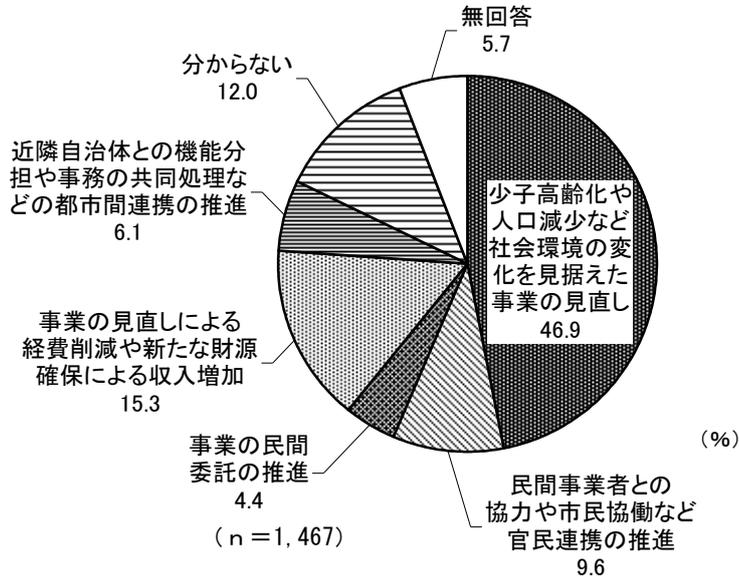
表13-2-2 行政サービスの情報化推進への取組一性別、年齢別

		n	た 環 境 の 整 備	リ 個 人 情 報 の 確 保	た イ ン タ ー ネ ッ ト な ど を 活 用 し	ビ 申 ワ ン ス ト ッ プ サ ー ビ ス の 提 供	せ パ ソ コ ン な ど の 講 座 や 研 修 を 向 上 さ	そ 他	無 回 答
全 体		1,467	49.4	43.0	25.4	15.5	14.5	10.1	6.7
性 別	男 性	621	48.5	38.0	32.9	18.4	14.8	11.0	5.8
	女 性	822	50.1	46.7	20.0	13.4	14.1	9.5	7.4
年 齢 別	20歳未満	17	47.1	76.5	29.4	11.8	11.8	-	-
	20～29歳	135	55.6	48.1	26.7	19.3	11.9	5.9	2.2
	30～39歳	178	52.8	45.5	27.5	27.5	7.9	9.0	2.8
	40～49歳	257	54.5	42.8	23.7	21.4	12.8	8.2	3.5
	50～59歳	222	58.1	45.0	28.8	18.0	15.3	5.0	1.8
	60～69歳	305	46.6	47.5	26.6	12.1	10.2	11.1	8.2
	70～79歳	259	38.2	33.2	23.2	5.0	23.9	17.4	14.3
	80歳以上	85	37.6	32.9	17.6	4.7	22.4	15.3	17.6

(3) より良い市民サービスを維持していく取組 (A: 問23)

問. 今後もより良い市民サービスを維持していくため、どのような取組が必要であると思いますか。(1つだけ選んでください)

図13-3-1 より良い市民サービスを維持していく取組



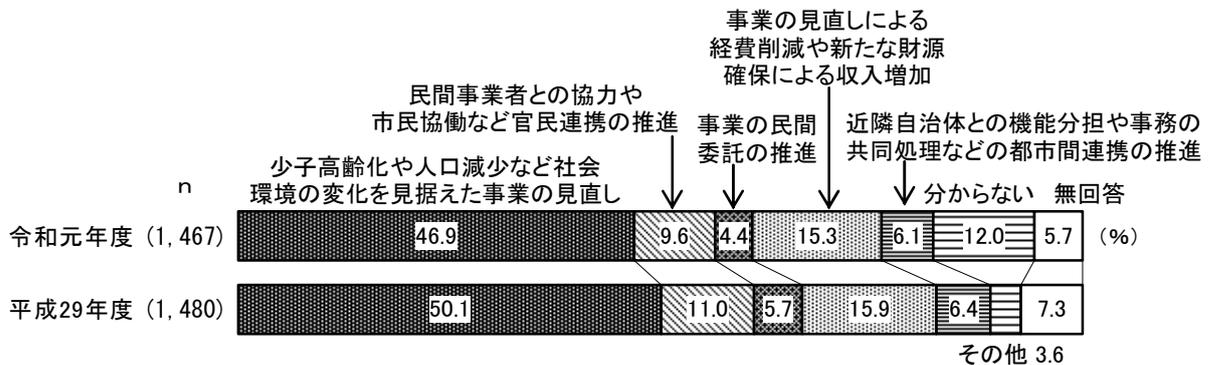
【全体】

より良い市民サービスを維持していく取組について聞いたところ、「少子高齢化や人口減少など社会環境の変化を見据えた事業の見直し」(46.9%)が4割半ばを超えて最も高く、次いで「事業の見直しによる経費削減や新たな財源確保による収入増加」(15.3%)、「民間事業者との協力や市民協働など官民連携の推進」(9.6%)、「近隣自治体との機能分担や事務の共同処理などの都市間連携の推進」(6.1%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、平成29年度調査と比べて大きな差異は見られない。

図13-3-2 より良い市民サービスを維持していく取組—経年変化



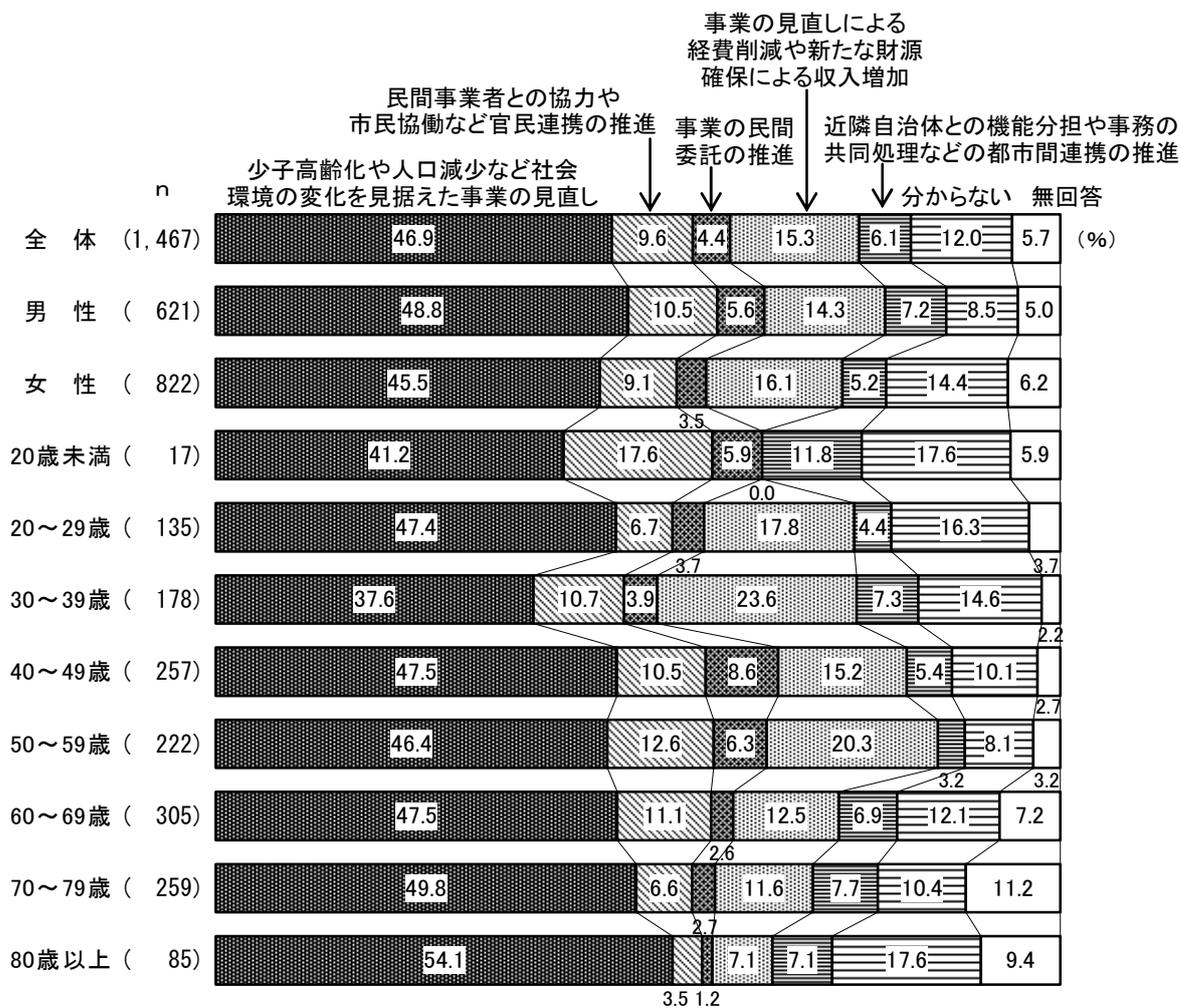
(注) 今回調査では「分からない」が、平成29年度調査では「その他」の選択肢であった。

【属性別】

性別で見ると、男性では「少子高齢化や人口減少など社会環境の変化を見据えた事業の見直し」(48.8%)が女性(45.5%)より3.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「事業の見直しによる経費削減や新たな財源確保による収入増加」は30～39歳(23.6%)が2割半ば近くと高くなっている。

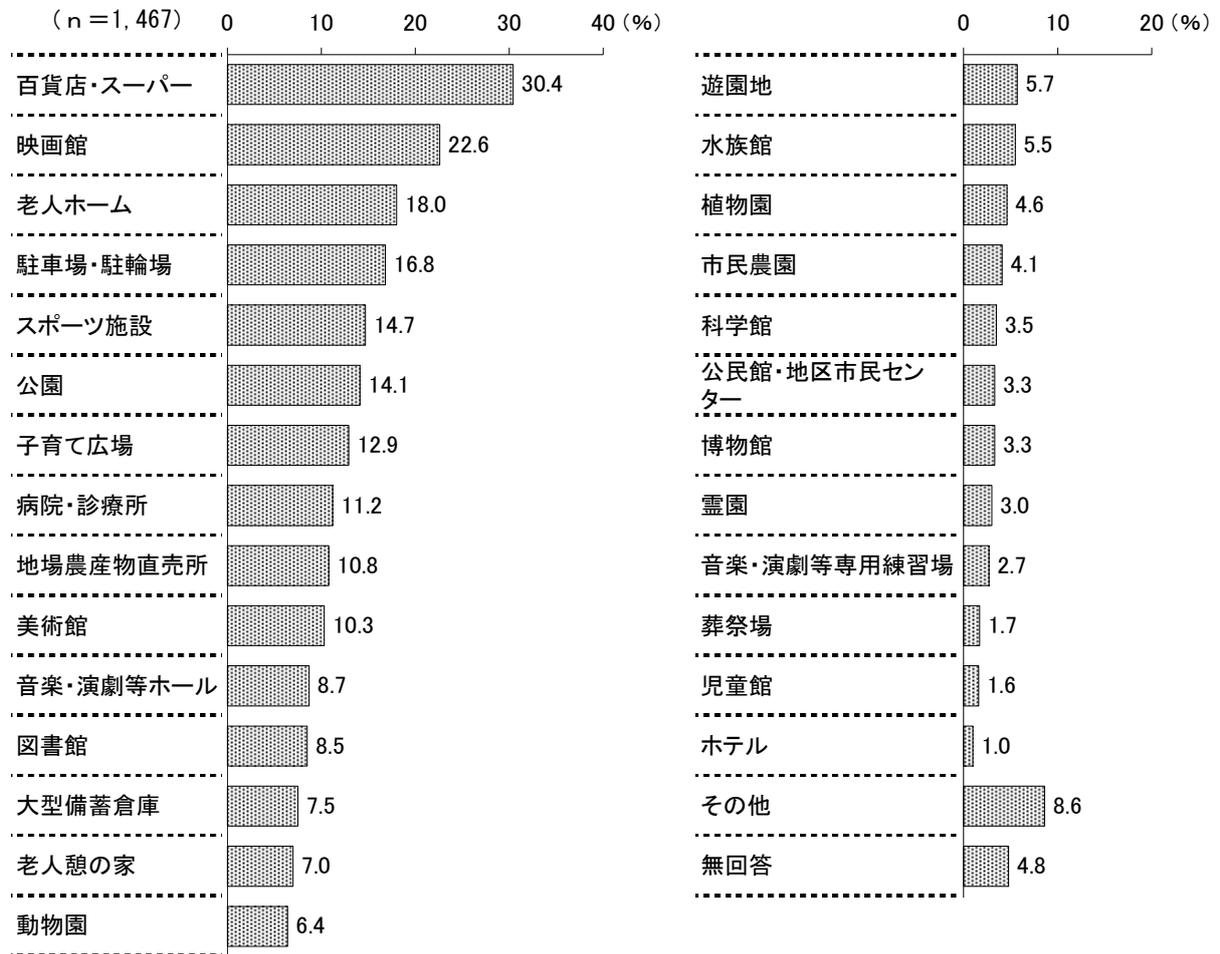
図13-3-3 より良い市民サービスを維持していく取組一性別、年齢別



(4) 市に必要な施設 (A: 問24)

問. 今後厚木市には、どのような施設が必要であると思いますか。(3つまで選んでください)

図13-4-1 市に必要な施設



【全体】

市に必要な施設について聞いたところ、「百貨店・スーパー」(30.4%)が約3割で最も高く、次いで「映画館」(22.6%)、「老人ホーム」(18.0%)、「駐車場・駐輪場」(16.8%)、「スポーツ施設」(14.7%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、上位3項目は平成29年度調査と同じ順位になっている。

なお、平成27年度以前の調査は、「生活をする上で、特に必要な施設」について聴いていたため、参考記載とする。

表13-4-1 市に必要な施設—経年変化（上位5項目）

(%)

順位	令和元年度 (n=1,467)	平成29年度 (n=1,480)	平成27年度 (n=1,471)	平成25年度 (n=1,270)	平成23年度 (n=814)	平成21年度 (n=1,610)	平成19年度 (n=1,506)	平成17年度 (n=1,008)
1	百貨店・スーパー 30.4	百貨店・スーパー 32.8	病院・診療所 64.9	病院・診療所 60.7	病院・診療所 66.6	病院・診療所 54.7	病院・診療所 50.9	病院・診療所 43.2
2	映画館 22.6	映画館 24.3	百貨店・スーパー 58.7	百貨店・スーパー 54.8	百貨店・スーパー 57.7	百貨店・スーパー 35.7	百貨店・スーパー 37.5	百貨店・スーパー 36.8
3	老人ホーム 18.0	老人ホーム 16.1	公園 20.9	公園 22.8	公園 25.1	公園 30.4	公園 32.3	公園 33.5
4	駐車場・駐輪場 16.8	スポーツ施設 15.7	駐車場・駐輪場 19.1	駐車場・駐輪場 19.1	駐車場・駐輪場 21.9	駐車場・駐輪場 17.5	駐車場・駐輪場 17.3	駐車場・駐輪場 20.6
5	スポーツ施設 14.7	駐車場・駐輪場 15.6	公民館・地区市民センター 16.4	公民館・地区市民センター 13.7	公民館・地区市民センター 15.5	公民館・地区市民センター 17.1	公民館・地区市民センター 15.7	公民館・地区市民センター 17.8

【属性別】

性別で見ると、男女ともに「百貨店・スーパー」が第1位、「映画館」が第2位、「老人ホーム」が第3位となっている。

年齢別で見ると、「百貨店・スーパー」は30～39歳から60～69歳の年代で第1位、20～29歳と70～79歳、80歳以上で第2位となっている。「映画館」は20～29歳で第1位、30～39歳から50～59歳の年代で第2位となっている。「老人ホーム」は70～79歳と80歳以上で第1位となっている。「駐車場・駐輪場」は60～69歳で第2位となっている。

表13-4-2 市に必要な施設—性別、年齢別（上位3項目）

(%)

順位	男性 (n=621)		女性 (n=822)	
1	百貨店・スーパー	29.3	百貨店・スーパー	31.1
2	映画館	21.1	映画館	23.4
3	老人ホーム	19.2	老人ホーム	16.9

(%)

順位	20歳未満 (n=17)		20～29歳 (n=135)		30～39歳 (n=178)		40～49歳 (n=257)	
1	百貨店・スーパー	47.1	映画館	41.5	百貨店・スーパー	29.8	百貨店・スーパー	37.7
2	子育て広場	23.5	百貨店・スーパー	31.9	映画館	25.3	映画館	30.4
3	公園/音楽・演劇等 ホール/映画館/ 動物園/水族館	17.6	スポーツ施設	25.2	公園	23.0	スポーツ施設/ 老人ホーム/ 駐車場・駐輪場	15.6

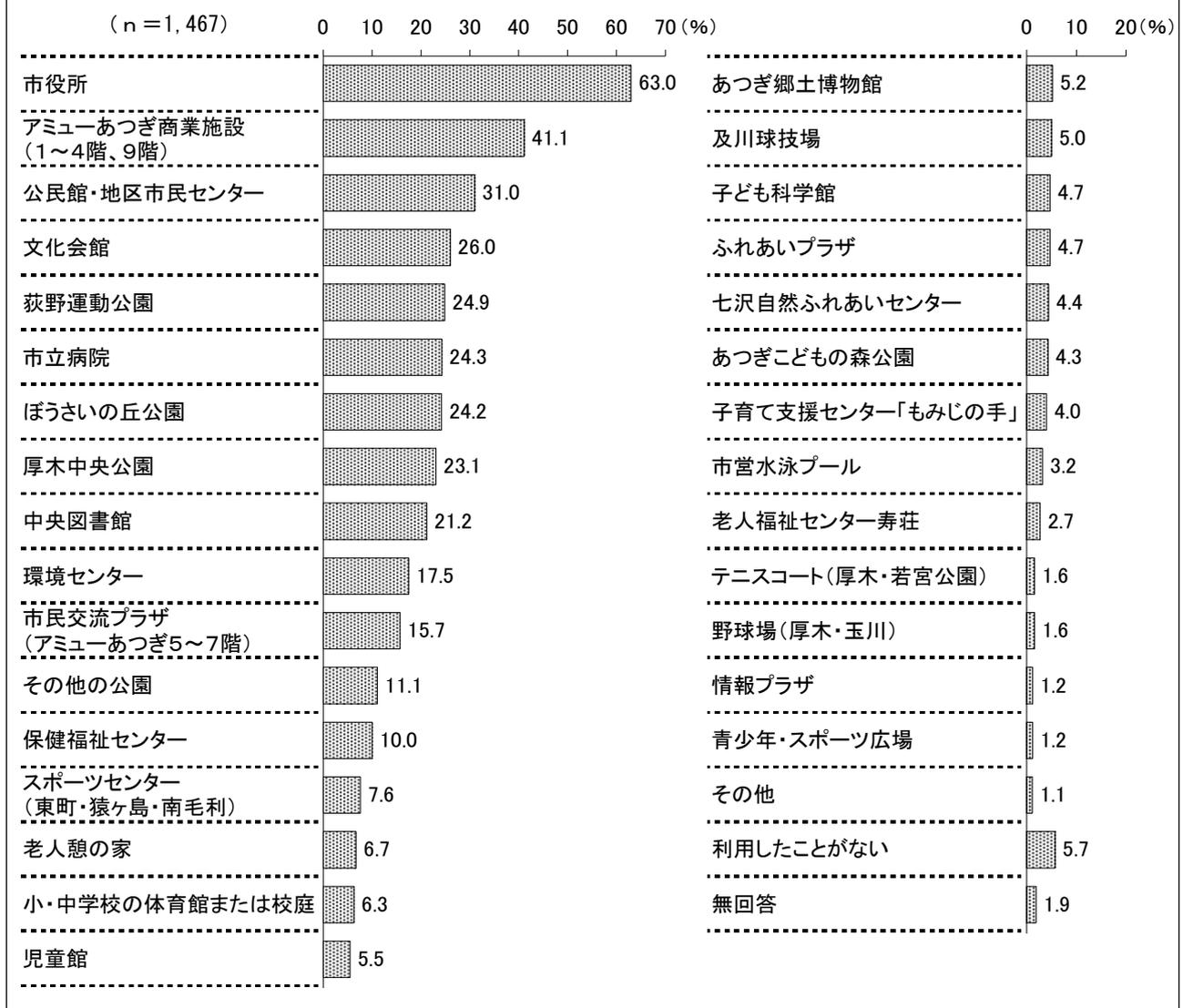
(%)

順位	50～59歳 (n=222)		60～69歳 (n=305)		70～79歳 (n=259)		80歳以上 (n=85)	
1	百貨店・スーパー	33.8	百貨店・スーパー	25.6	老人ホーム	27.4	老人ホーム	32.9
2	映画館	24.8	駐車場・駐輪場	19.3	百貨店・スーパー	26.3	百貨店・スーパー	25.9
3	老人ホーム/ 駐車場・駐輪場	17.6	老人ホーム	18.0	地場農産物直売所	17.4	老人憩の家	17.6

(5) 市の施設の利用状況 (A:問25)

問. この1年間に、利用された「市の施設」を教えてください。(いくつでも選んでください)

図13-5-1 市の施設の利用状況



【全体】

市の施設の利用状況について聞いたところ、「市役所」(63.0%)が6割半ば近くで最も高く、次いで「アミュあつぎ商業施設(1~4階、9階)」(41.1%)、「公民館・地区市民センター」(31.0%)、「文化会館」(26.0%)、「荻野運動公園」(24.9%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、上位2項目は平成29年度調査と同じ順位となっている。「公民館・地区市民センター」(31.0%)は平成29年度調査(25.8%)より5.2ポイント増加している。

表13-5-1 市の施設の利用状況—経年変化(上位5項目と「利用したことがない」)

(%)

順位	令和元年度 (n=1,467)	平成29年度 (n=1,480)	平成27年度 (n=1,471)	平成25年度 (n=1,270)	平成23年度 (n=814)	平成21年度 (n=1,610)	平成19年度 (n=1,500)	平成17年度 (n=1,008)
1	市役所 63.0	市役所 62.7	市役所 67.5	市役所 62.8	ぼうさいの丘公園 33.5	中央図書館 31.4	荻野運動公園 36.9	中央図書館 28.4
2	アミューあつぎ商業施設(1~4階、9階) 41.1	アミューあつぎ商業施設(1~4階、9階) 42.9	アミューあつぎ市民交流プラザ 37.7	中央図書館 29.1	中央図書館 29.2	文化会館 31.1	中央図書館 34.2	荻野運動公園 28.1
3	公民館・地区市民センター 31.0	荻野運動公園 30.1	公民館・地区市民センター 34.4	ぼうさいの丘公園 26.8	文化会館 26.8	ぼうさいの丘公園 30.7	文化会館 33.3	文化会館 27.8
4	文化会館 26.0	文化会館 27.2	ぼうさいの丘公園 29.2	荻野運動公園 25.7	荻野運動公園 26.3	荻野運動公園 25.7	ぼうさいの丘公園 28.1	総合福祉センター 17.1
5	荻野運動公園 24.9	厚木中央公園 26.4	文化会館 28.2	文化会館 25.6	厚木中央公園 24.0	市立公民館・地区市民センター 22.4	厚木中央公園 24.1	市立公民館・地区市民センター 17.0
	利用したことがない 5.7	利用したことがない 5.9	利用したことがない 6.3	利用したことがない 7.6	利用したことがない 15.6	利用したことがない 16.6	利用したことがない 12.7	利用したことがない 21.3

(注1)「保健福祉センター」は、平成29年度調査では「保健福祉センター(旧総合福祉センター・保健センター)」としていた。また、平成27年度調査以前では2つの選択肢「総合福祉センター」と「保健センター」としていた。

(注2)「スポーツセンター(東町・猿ヶ島・南毛利)」は、平成29年度調査以前では3つの選択肢「東町スポーツセンター」、「猿ヶ島スポーツセンター」、「南毛利スポーツセンター」としていた。

(注3)「野球場(厚木・玉川)」は、平成29年度調査以前では2つの選択肢「厚木野球場」と「玉川野球場」としていた。

(注4)「青少年・スポーツ広場」は、平成29年度調査以前では2つの選択肢「青少年広場」と「スポーツ広場」としていた。

(注5)「小・中学校の体育館または校庭」は、平成29年度調査以前では2つの選択肢「小・中学校の体育館」と「小・中学校の校庭」としていた。

(注6)「テニスコート(厚木・若宮公園)」は、平成29年度調査以前は2つの選択肢「厚木テニスコート」と「若宮公園テニスコート」としていた。

(注7)「市民交流プラザ(アミューあつぎ5~7階)」は、平成27年度調査では「アミューあつぎ市民交流プラザ」としていた。また、平成25年度調査以前では選択肢に加えていない。

(注8)平成29年調査では「ちびっこ広場」の選択肢を追加していた。

(注9)平成29年度調査以降では「アミューあつぎ商業施設(1~4階、9階)」、「市立病院」、「環境センター」、「あつぎこどもの森公園」、「その他の公園」の選択肢を追加している。

(注10)平成25年度調査以降では「市役所」の選択肢を追加している。